

## 1 市の概要 (H30年度)

人口	143,080 人
保護率	0.69 %

## 2 支援状況調査 (H30年度)

新規相談受付件数人口10万人当(件) 一月当たり	11.8
プラン作成件数人口10万人当(件) 一月当たり	2.3
就労支援対象者数人口10万人当(件) 一月当たり	1.7
就労・増収率(%)	75.9

## 4 事業実績 (H30年度)

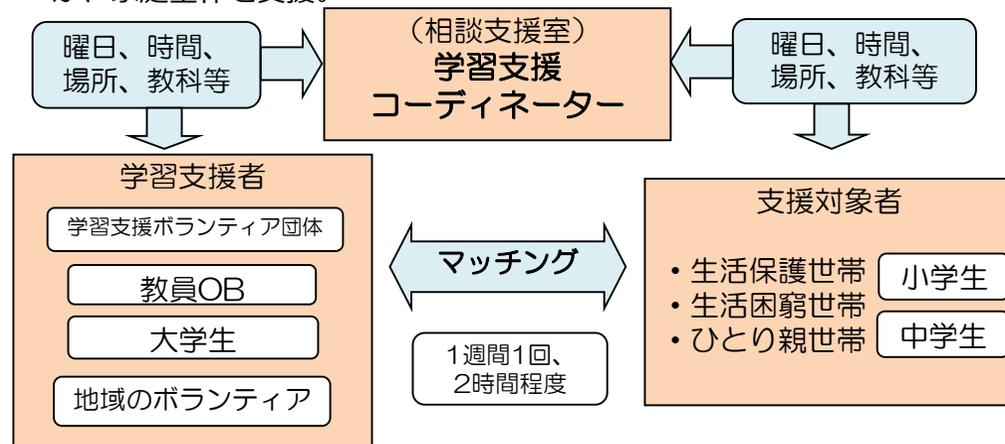
実利用者数	うち生活困窮		うち生活保護	
	11人	2人(小学生1人、中学生1人)	9人(小学生5人、中学生4人)	

## 5 事業実施のポイント ~ひとり親家庭への支援との一体的実施~

### Point

**〇生活困窮者自立支援事業とひとり親家庭への学習支援事業を一体的に実施**

- 〇申請・受付の窓口が1つになって利用者として迷うことがない。
- 〇ひとり親世帯と困窮世帯とは少なからず関係があると考えられ、ケースをとおして広く見ることができ、生活全体の相談に入っていくやすい。
- 〇学習支援コーディネーターが子どもと支援者をマッチングするほか、家庭全体を支援。



## 6 取り組んで良かったこと

- 〇複合的な課題を抱えるひとり親家庭の生活全体の相談に入りやすくなり、自立支援機関へ円滑に繋がられるようになった。

## 3 実施方法について

実施方法	委託（桑名市社会福祉協議会） ①単年契約 ②随意契約
事業費	2,642千円（平成30年度）
理由（委託）	〇複合的な課題を抱える困窮者の支援を適切に行うためには、その世帯を包括的に支援を提供することが必要である。そこで、高い専門性・ノウハウなどの実績があり、桑名地域で広く福祉事業に関わり、ボランティア登録事業なども実施している桑名市社会福祉協議会へ委託、このことにより学習支援事業が円滑に事業実施されると期待できるため。
事業概要	〇平成27年度より、子どもの学習・生活支援事業とひとり親家庭への学習支援支援事業を一体実施。生活保護世帯、生活困窮世帯（福祉事務所長が認める者）のほか、ひとり親世帯の子どもも学習支援事業の支援対象。 〇子ども（支援対象者）とボランティア（支援者）の間に「学習支援コーディネーター」を配置。日時・場所（自宅含む）・教科等をマッチングし、個別訪問型の支援を実施。併せて、学習支援コーディネーターが家庭と繋がり、家庭全体を支援する方法をとっている。
その他特記事項	〇ひとり親支援部局との連携確保に努めている。